

「日本一を目指す」

全国切符、意気高く

江刺区のバレーボール男子スポ少「江刺JVC PHANTOM」(後藤一臣監督)は、3月に高知県で開催される第10回全国スポーツ少年団交流大会に東北を代表し出場する。このほど、メンバーらが市江刺総合支所を訪れ、佐藤孝守教育長に意気込みを語った。同チームは、昨年11

月に開かれた第29回県小学生バレーボール育成大会で予選リーグ、決勝トーナメントの全試合でストレート勝ちを収め優勝。全国への切符を手に入れた。同総合支所には、千葉永雅キャプテンら選手6人と後藤監督(30)、及川洋・市バレーボール協会会長(62)が訪問。「県大会では地域や親

の応援があって活躍できた。恩返しができるよう、全国で優勝したい」「悔いのないように日ごろの練習を頑張る、日本一を目指す」などと力強く抱負を述べた。大舞台本番に照準を合わせ、週5回の練習に励む日々。後藤監督

は「全国大会は各ブロックから選ばれた10チームが出場する。レベルの高いチームが出てくると思うが、日本一になれるよう頑張る」と意気込みは十分だ。

同チームはメンバー9人のうち7人が6年生で、今大会が小学校最後の試合となる。佐藤教育長は「思い出に残る試合をしてほしい。全国のチームもレベルは同じ。気持ちで負けないよう、ぜひ優勝目指し頑張って」とエールを送った。



3月の全国大会で優勝を誓う江刺JVC PHANTOMのメンバー



江刺一中との壮行試合に臨む
江刺JVC・PHANTOM

バレーボール江刺JVC

チームワークで目指せ日本一

関係者ら 中学生と壮行試合も 集い 激励

全国大会に出場する
バレーボール男子スポ
少「江刺JVC・PH
ANTOM」の壮行式

が3日、江刺区の市立
岩谷堂小体育館で開か
れた。県連盟役員らが
訪れ、選手たちを激励。
江刺一中との壮行試合
もあり、メンバー9人
は全国優勝を目指して
気持ちを引き締めた。

保護者会の千葉茂幸
会長は「全ての人たち
への感謝を忘れず試合
を行い、人間的にも大
きく成長してほしい」
とあいさつ。県小学生
バレーボール連盟の吉
田克己会長も大舞台で
の活躍に期待した。

選手を代表し千葉永
雅^ニ主将（江刺愛宕小6
年）は「チームはとて
も仲が良いことが自
慢。全員が心を一つに
してボールをつなぎ、
強い気持ちで戦ってく
る」と力強く誓った。
後藤一臣監督（30）
は「日本一を目指し、県
外遠征をしながら練習
していきたい」と話す。

全国大会は3月23日
25日、高知県南国市で
開かれる。